



# 一生懸命だよ



## 国際読書年 国も県も民意を正確に捕え、その実現の為の議会を!

原点に戻ろう ～ 子供達の心を豊かに県立図書館にコーラル文庫 ～

■「最低でも県外移設」と言われた鳩山首相の沖繩基地問題。この際根本的な日本の安全保障についても考える時と思いましたが、外務大臣、防衛大臣等の訪米や米との話し合いを見たと必ずしも国民の多くが支持し、転換させた新政権鳩山氏の思いとは一致せず。地滑り地帯で危険な浅川ダムも政権が変わり「できるだけダムによらない治水対策を」と前原国交大臣が知事によびかけているにもかかわらず県議会民主党代表(倉田氏)が民主党参議院議員と共に「浅川ダムは県民の願い」と前原大臣に陳情に上がり、長野市選出県議会社民党代表も辻本国交副大臣に「長い議論の末の県民の結論を国の方針だからと一律に言うのはおかしい」と訴える。新政権が民意を反映しようとしても現実には長期政権によるオール与党的な地方議会のねじれが、国民の望む方向をぶれさせてしまっている。

■現場に足を運べば運ぶほど現場内と異なった山口村越県合併や学校土曜日休みや浅川ダム建設そして高校再編や崖高校分校化! 農林業政策に到っては国の施策、いや方針自体が間違っていたのではないだろうか? やがてその方針は今後企業をも苦しめることになる。真の国民・県民の幸せの実現を考え、議会は勇気をもって古い体質を捨て、本気で議論する場にならなければならないと思う。

### 2月定例県議会のご報告

#### 建設 危険で無駄な浅川ダム建設について

- ①「地滑り地帯にしかも浅川の災害に直接は役立たない穴の開いたダムを」との住民の不安、長野市長選挙時の世論調査での62.3%に及ぶ浅川ダムの見直しの声をどう受け止めるのか?
- ②議論は尽くした。
- ③「コンクリートから人へ」を訴えた政党の大勝をどう考えるのか? 昨年12月の大臣よりの「出来るだけダムによらない治水対策へのお願い」は?
- ④浅川ダムは長野県民の議論の結果なので国が一律にいうことではない。
- ⑤国土交通省の「有識者会議」における個別ダムの検証を拒むのか?
- ⑥県民の代表である県議会が予算を決めれば決定。国の検証を待つ必要はなし。

西松建設が知事選時に進化した供養した基金は選挙制知事も長らく3回の依頼で浅川ダムがダムありきとして穴を開き決定へと進んだのか?

#### 教育 学校週5日制について

- ①子供も親も学校現場も望まなかった5日制が完全実施されて10年。月1回でも土曜日登校はどうか?
- ②学力低下となりゆとり教育そのものに疑問がでてきた。



#### 観光 観光関連事業の執行について

- ①多額を予算化したザガット英語版の進捗状況とJCAスバック長野大会の県経済波及効果は?
- ②外国人旅行者誘致推進に本年度ロシアを追加した成果は?

#### 教員免許更新性の存続を求める意見書に反対討論

■「せっかく取得した資格(免許)をなぜ教員のみ10年毎に更新するのか! その研修の内容やその間の学校へ生徒に対する大きな負担は!」と批判されし新政府が見直そうとしている矢先に地方から「研修をうけた教員の8割は良かったと言っている。是非継続を!」と現場の声と反対の声が国に伝えようとする意見書に驚き、あきれ、反対討論をした。

国に対する各県からの「意見書」はこのように各議会と与野党が協議決定し、国民の希望を反映して国に上げます。しかし意見書の内容(元教員)は国(与野)からきたもので、これでは国と意見を交わらせる「タウンミーティング」と同じです。

どうこれが地方の声?

地方自治法第99条の規定により、国に出す地方からの「意見書の仕組み

#### 活動報告



水と緑を守る活動を始めて22年「千曲川の河川環境シンポ」にて



スタート時から関わった遺言 成年後見人制度の周知活動。NPO法人となり20回、ますますの普及・啓発!



さよなら望月警察署。望月・立科北御牧・浅科消防団長とともに



PTA母親文庫からのふれあい読書会 小学校高学年読み聞かせする山梨会長(県議は隣の教室で)



市町村一括おのて今まで支えてきた団体にしっかり補助してね。

#### 知事の政治姿勢について

- ①県職員が県民の方を向かなくなったと聞か「公務員は公僕」という考え方をどう考えるか?
- ②【人事について】
  - ・副知事2人制の成果は?
  - ・議員時代の秘書3人を(参事、公務の秘書、政務の秘書として東京に一人、長野に一人)県職員として採用した成果は?
  - ・国の省庁から職員を受け入れる目的と成果は?
  - ・県職員の再就職促進の復活についての考え方は?
  - ・教育委員会の自主性と「委員長含み」の人事案提出は?
  - ・前人事委員会の辞任について任命権者としての考え方は?
- ③【組織について】
  - ・大坂事務所、名古屋事務所の復活の成果は? 観光部設置の成果は?
  - ・外郭団体の見直しについて廃止と決定されていた公社等の復活の理由は?
  - ・県立病院を独立法人化、校用技師、学校支司書等学校現場の職員等の臨時的又民間委託、県有施設(福祉・教育も含め)の指定管理制度の導入に対する考え方は?

すべて反対した県議者が「人事は知事の思いのままに前進高橋もご自由だ」の言わくは……



他県に先んじて国の方針も即暴野党に誘引するのはいかぬのか!

#### 不可解な監査委員人事案件に反対討論

■今井正子議員の反対討論(要旨)・・・「今回の監査委員人事は知事の「肩たたき」人事と言われても仕方がない。知事側近である現職の総務部長が中途退職し監査委員に就任することは「監査委員会は知事から独立した立場」を考えれば今回の人事は県民にも疑問を抱かせる。監査委員の最大の任務は「決算の監査」であり、県政のチェック機能を強めるためにもこの人事案件には反対である。

#### 新年度予算で思いが実現

- 特別支援学校の教員80人増員
- 不登校支援に3000万円
- 県産材住宅への助成
  - 新築●●万円(昨年30万円)
  - リフォーム40万円(昨年15万円)ただし省エネ基準もあり
- 医師確保対策に5億1000万円
  - 医師研究資金貸与200~300万円
  - 医学生学資金貸与 月額20万円25名(既貸与者50名)
  - 女性医師復職支援研修
  - 産科医・緊急医に対する手当ての支援
  - 助産師活用促進



